



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社KVK  
コード番号 6484 URL <https://www.kvk.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末松 正幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長兼情報システム部長 (氏名) 北川 喜一 TEL 0574-55-0006  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	21,979	△1.7	1,835	3.7	2,112	11.8	1,444	20.5
2024年3月期第3四半期	22,368	2.3	1,770	25.3	1,888	21.7	1,199	16.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,355百万円 (△10.6%) 2024年3月期第3四半期 1,516百万円 (46.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 180.83	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	円 銭 150.72	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 35,037	百万円 27,844	% 79.5
2024年3月期	百万円 34,464	百万円 27,010	% 78.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 27,844百万円 2024年3月期 27,010百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 60.00
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2025年3月期（予想）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 70.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年3月期期末配当金の内訳  
普通配当 30円 創業85周年記念配当 5円

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	2.4	2,600	2.8	2,800	△2.3	1,900	△4.1	238.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	8,322,178株	2024年3月期	8,322,178株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	314,794株	2024年3月期	350,294株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	7,990,055株	2024年3月期3Q	7,957,867株

(注) 2024年3月期の期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式には、役員向け株式交付信託及び従業員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

また、2024年3月期の期末自己株式数、2025年3月期第3四半期の期末自己株式及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 7
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 7
(会計方針の変更に関する注記) .....	P. 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	P. 7
(セグメント情報等の注記) .....	P. 8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、雇用・所得環境が改善するなかで、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、地政学的リスクの高まり、アメリカの今後の政策動向、為替・金利の変動等による影響については引き続き注視する必要があります。当住宅関連業界におきましては、住宅価格および住宅ローン金利の上昇により、住宅取得マインドの低下もあり、新設住宅着工戸数の持家は底固い動きがあるものの、全体としては前年比減少傾向が続いており、厳しい状況となりました。

このような状況のなか、当社グループは、お客様への新たな価値の提供を目指し、中期経営計画「KVK Innovation」に掲げた重点戦略に取り組んでまいりました。

近年、造作洗面やセカンド洗面の需要が増加しており、手洗い用水栓に求められるデザイン、カラーも多様化しています。この度、手洗い用水栓において、めっき・マットホワイト・マットブラックに加えて、新たにマットグレー仕様を追加し発売しました。ホワイトとブラックの中間色で主張が強すぎないことで、手洗い器や小物などのデザインを活かすことができ、より美しい洗面空間を実現することができます。

生産能力増強のための新工場棟2棟は、射出成型機と樹脂めっき設備を順次導入し、樹脂部品増産体制を整えました。稼働率も上昇し安定稼働しています。今後、主要な原材料である銅合金の価格変動リスクに備え、水栓における樹脂の使用比率を高め、樹脂部品の増産を図ります。また、新棟のさらなる活用に向けて、既設工場生産ラインを含め、安全性やコストを考慮した最適な工場レイアウトの見直しと高効率な生産体制づくりを進め、原価低減に寄与できるようにしていきます。

当第3四半期連結累計期間における連結業績につきましては、住宅市場が厳しい状況のなか、採算性を考慮した販売品目の見直しにより、売上高は21,979百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は1,835百万円（前年同期比3.7%増）となりました。経常利益は、投資有価証券売却益などもあり2,112百万円（前年同期比11.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,444百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度末に比べ573百万円増加し、35,037百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,517百万円増加した一方で、電子記録債権が425百万円、有形固定資産が294百万円減少したことによりです。

負債は、前連結会計年度末に比べ260百万円減少し、7,192百万円となりました。これは主に流動負債が215百万円減少したことによりです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ834百万円増加し、27,844百万円となりました。この結果、自己資本比率は79.5%（前連結会計年度末は78.4%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2025年3月期通期の業績予想につきましては、主要な原材料である銅の国内相対取引の建値が依然として高止まりし、また物価の上昇による仕入コストの増加および為替・金利の変動もあり、不透明な状況で推移するものと予想されますが、2024年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,764,992	4,282,126
受取手形	1,318,396	1,147,479
売掛金	3,860,575	4,067,477
電子記録債権	6,055,471	5,629,784
商品及び製品	884,588	1,033,522
仕掛品	1,376,593	1,342,537
原材料及び貯蔵品	1,818,550	1,740,955
その他	461,859	252,717
貸倒引当金	△138,900	△118,400
流動資産合計	18,402,127	19,378,201
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,130,900	3,872,661
土地	1,982,683	2,007,141
その他(純額)	3,866,842	3,806,254
有形固定資産合計	9,980,427	9,686,057
無形固定資産	326,619	423,126
投資その他の資産		
投資有価証券	2,507,293	2,302,619
投資不動産	2,396,855	2,353,344
退職給付に係る資産	728,771	777,240
その他	122,051	116,800
投資その他の資産合計	5,754,973	5,550,005
固定資産合計	16,062,020	15,659,189
資産合計	34,464,147	35,037,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,616,125	1,384,000
電子記録債務	2,695,063	2,780,914
未払法人税等	392,410	188,121
賞与引当金	480,424	233,912
製品保証引当金	142,000	140,000
その他	1,509,405	1,893,382
流動負債合計	6,835,427	6,620,331
固定負債		
退職給付に係る負債	68,462	67,417
役員株式給付引当金	330,044	296,299
資産除去債務	43,620	43,620
その他	176,179	165,302
固定負債合計	618,305	572,638
負債合計	7,453,732	7,192,970
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,854,934	2,854,934
資本剰余金	3,023,334	3,023,334
利益剰余金	20,531,880	21,397,752
自己株式	△552,325	△494,767
株主資本合計	25,857,823	26,781,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	487,932	345,137
為替換算調整勘定	527,263	578,331
退職給付に係る調整累計額	137,395	139,698
その他の包括利益累計額合計	1,152,591	1,063,166
純資産合計	27,010,414	27,844,420
負債純資産合計	34,464,147	35,037,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	22,368,020	21,979,010
売上原価	16,923,648	16,481,685
売上総利益	5,444,371	5,497,325
販売費及び一般管理費	3,674,021	3,662,060
営業利益	1,770,349	1,835,264
営業外収益		
受取利息	350	302
受取配当金	12,701	13,542
投資有価証券売却益	—	216,345
投資不動産賃貸料	126,379	128,491
その他	109,986	82,916
営業外収益合計	249,418	441,598
営業外費用		
売上割引	33,577	34,905
投資不動産賃貸費用	81,039	73,664
為替差損	14,395	53,517
その他	1,794	2,627
営業外費用合計	130,807	164,714
経常利益	1,888,961	2,112,149
特別利益		
固定資産売却益	—	3,862
特別利益合計	—	3,862
特別損失		
固定資産除却損	36,793	5,328
信託終了損	40,503	—
特別損失合計	77,297	5,328
税金等調整前四半期純利益	1,811,664	2,110,683
法人税、住民税及び事業税	507,919	592,291
法人税等調整額	104,333	73,494
法人税等合計	612,253	665,786
四半期純利益	1,199,410	1,444,897
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,199,410	1,444,897

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,199,410	1,444,897
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	240,451	△142,795
為替換算調整勘定	66,348	51,067
退職給付に係る調整額	10,499	2,303
その他の包括利益合計	317,300	△89,424
四半期包括利益	1,516,710	1,355,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,516,710	1,355,472

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	745,606千円	778,943千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社グループは、給水栓・給排水金具・継手及び配管部材の製造・加工・仕入れ及び販売を主事業とする専門メーカーで、所在地別セグメント情報を報告セグメントとしております。

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,986,753	381,267	—	22,368,020	—	22,368,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	168,648	4,644,713	235,610	5,048,971	△5,048,971	—
計	22,155,401	5,025,980	235,610	27,416,992	△5,048,971	22,368,020
セグメント利益	1,867,921	278,830	6,091	2,152,843	△382,493	1,770,349

(注) 1. セグメント利益調整額△382,493千円には、セグメント間取引消去39,168千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△471,941千円、棚卸資産の調整額50,279千円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,623,544	355,466	—	21,979,010	—	21,979,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	177,490	4,514,803	229,277	4,921,572	△4,921,572	—
計	21,801,034	4,870,269	229,277	26,900,582	△4,921,572	21,979,010
セグメント利益又は損 失(△)	2,070,807	288,284	△3,475	2,355,616	△520,351	1,835,264

(注) 1. セグメント利益又は損失調整額△520,351千円には、セグメント間取引消去31,588千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△583,990千円、棚卸資産の調整額32,049千円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。